

横浜市が、IPCC2027年総会の開催候補地に選ばれました！ ～気候変動 COP など世界の政策決定の土台となる科学的知見を提供する国際会議～

本日（3月31日）、環境省から「2027年に開催される IPCC（気候変動に関する政府間パネル）総会の開催候補地を横浜市とする」と、発表がありました。今後、IPCC事務局における承認プロセス後、開催都市が決定される予定です。

IPCCは、気候変動に関する科学的知見を評価する国連機関で、190以上の国・地域が参加しています。世界の気候変動の専門家や各国政府代表が集まる総会を開催し、定期的に報告書をまとめています。その報告書において IPCCが提供する科学的知見は、世界最大級の国際会議である気候変動 COPをはじめ、国際交渉や世界の政策決定の基礎情報となっています。

横浜市は、IPCC総会の横浜誘致に取組み、公募の結果選定されました。2027年の横浜開催は、13年ぶり2度目となります。

これまで、横浜市は、2025年3月に横浜で開催した IPCC の取組をテーマとした「日本-IIASA ジョイントセミナー in 横浜」における基調講演での横浜市の取組発信や、今月タイ・バンコクで開催された「第64回 IPCC 総会」の機会をとらえて、市長自ら IPCC の専門家の方々と直接お会いして意見を交わすなど、気候変動対策の推進に向けて、都市の声を届けてきました。

1 会議概要

- (1) 会議名：IPCC 総会
- (2) 開催候補地：横浜市
- (3) 開催時期：2027年（令和9年）後半
- (4) 主催：気候変動に関する政府間パネル（IPCC：Intergovernmental Panel on Climate Change）
- (5) 所管官庁：環境省
- (6) 参加人数：約500人（予定）

2 山中 竹春 横浜市長のコメント

このたび、横浜市が IPCC2027年総会の開催候補地に選ばれましたことを、大変光栄に思います。横浜市が市民や企業の皆様とともに進めてきた脱炭素化や循環型社会の実現に向けた取組を評価いただき、大変嬉しく思います。

本会議と、同年9月まで開催の「横浜グリーンエクスポ」との相乗効果により、横浜から、環境と共生したグリーンな未来を一層力強く示していけるよう、尽力してまいります。

国との緊密な連携のもと、万全の準備を進めるとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



3 IPCCとは

気候変動に関する政府間パネル（IPCC：Intergovernmental Panel on Climate Change）。国連環境計画（UNEP）及び世界気象機関（WMO）によって1988年に設立された政府間機関。スイスのジュネーブに所在し、気候変動に関する最新の科学的知見について評価を行い、定期的に報告書を作成している。また、本報告書は国際交渉や国内政策のための基礎情報として、世界中の政策決定者に引用され、世界最大級の国際会議の一つである気候変動 COP の議論の基礎となる科学的知見を提供する役割も担っている。1990年に公表された第1次報告書以降、5年～8年に一回程度のサイクルで報告書の作成が行われている。

お問合せ先

（国際会議の誘致・開催について）

国際局グローバルネットワーク推進課担当課長 谷澤 寿和 Tel 045-671-4889

（気候変動対策について）

脱炭素・GREEN×EXPO推進局戦略企画課グローバル担当課長 安養寺 智
Tel 045-671-4933



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

